

第2回

タイポグラフィ学会

研究論文発表会 2011

日時 二〇一一年二月二〇日〔日〕

午後二時より〔受付開始：午後一時三〇分〕

会場 東洋美術学校 C棟 C-1教室

一六二一〇〇六七 東京都新宿区富久町二一六

参加費 無料（会員・一般ともに）

特別価格にて学会誌販売もいたします。

プログラム

◎午後二時一五分～午後三時

〔研究ノート発表〕

いわゆる電子書籍に関する断片的考察

—— 山本太郎

◎午後三時一五分～午後四時四五分

〔研究論文発表〕

弘道軒清朝活字の製造法とその盛衰

—— 片塩二郎

◎午後六時～午後八時

〔懇親会、参加希望者のみ

参加費

一般：三〇〇〇円、会員：一〇〇〇円

一般、会員ともにお飲み物の代金は各自ご負担願います。

研究論文発表会参加希望者は、二月十日までに、参加希望人数、氏名をご記入の上、e-mailもしくはファクシミリにて東京事務局宛にお申し込みください。三日以内にお断りの連絡がない場合は、予約完了とさせていただきます。なお、お申し込みの際には、懇親会への出席を必ずお知らせください。

お申し込み、お問い合わせ先

タイポグラフィ学会 東京事務局

e-mail: info@society-typography.jp

Facsimile: 03-3352-0727

●研究ノート発表

いわゆる

電子書籍に関する

断片的考察

 山本太郎

現在、いわゆる電子書籍が

注目されているが、電子文書の歴史を

展望することで、電子書籍のもつ可能性と

種類の可能性を探る。



●研究論文発表

弘道軒清朝活字の

製造法とその盛衰

 片塩二郎

わが国近代活字の先駆けとなった弘道軒清朝活字は、

パンチド・マトリクス法によって製造された。その技法、金属成分、

活字サイズを精査しつつ、清朝活字の拡散と盛衰を先行事例として、

「現代文章日本語」にふさわしい活字書体の展開を問題提起する。

アクセス

・都営新宿線「曙橋駅」下車徒歩八分
・東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」
下車徒歩一〇分



タイポグラフィ学会は、タイポグラフィという技法に学問的な基盤を与え、その成果を実技・実践に生かし、有効で豊かな展開を通して社会に貢献することを目的に、二〇〇五年八月に設立されました。『タイポグラフィ学会誌』は二〇〇七年に創刊、先般その四号が刊行されました。ここに学会誌四号に掲載された研究論文および研究ノートの発表会の開催をお知らせいたします。当学会員だけでなく、多くの方々の参加をお待ちしています。

タイポグラフィ学会会長 山本太郎